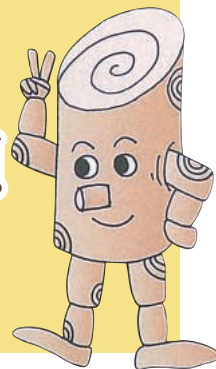




出雲地区森林組合広報

「緑のこだま・いずも」



No.20
平成21(2009)
7/1

発行
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070
メールアドレス: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp

平成21年度 労働安全衛生大会の開催

6月19日(金)に平成21年度 労働安全衛生大会を組合本所で開催しました。
優良従業員、優良運転者表彰の表彰式をし、出雲市消防本部から「心肺蘇生法・現場での応急手当」の講義を受けました。

今回は職場体験の出雲農林高校の生徒さんも参加しAED(自動体外式除細動器)の使用方法等を一緒に学びました。

当組合の安全目標「もう一度 目で見て指して 再確認」を理解し、基本に返った「災害ゼロ 危険ゼロ」を目標にして、組織的かつ継続的な安全活動を推し進めてまいります。



表彰式



指差唱和



体験発表



心肺蘇生法講習

平成21年度の方針

代表理事専務 田部昌徳

昨年度は世界的な原油の高騰をはじめ、米国大手証券会社の経営破綻等による希にみる世界不況の影響で森林・林業を取りまく環境も非常に厳しくなりました。生産事業はコスト高となり又、行財政改革による公共事業の大幅な受注減が大きく経営に影響を及ぼしましたが、組合員の皆様をはじめ関係各位のご支援により剰余金を計上することが出来ましたことに対し心より感謝を申し上げます。

さて、二十一年度の通常総代会も終えさせて頂き、本年度が本格的にスタートした所であります。

地球温暖化防止対策として京都議定書による第二期CO₂削減目標達成に向けて、森林施策の集約化・団地化を図りながら作業道開設を行ない間伐や皆伐事業に取り組み、昨年導入した高性能林業機械(ハーベスタ、フォワーダ一)を駆使して木材生産コストの低減を図り、組合員の皆様へ少しでもお返しのできる森林整備を実施することによって森林の持つ多面的機能の増進と循環型森林の形成に努めて参ります。又、生産した木材は、昨年設立した「斐伊川流域森林組合納材協議会」を中心に販路選択に努め有利販売を目指します。

今年一月の降雪による出雲市南部を主とする造林木の折損・倒木等大きな被害が発生いたしました。これまで営々と管理なされた林家の皆様は大きな打撃と山林意欲の低下を余儀無くされました。被害を受けた方々には心よりお見舞いを申し上げます。これに対する対応も県・市との連携を取りながら整備を実施いたします。

林業をとりまく経営環境は非常に厳しい状況下ではあります。加工部門に於ける生産コストの低減を図り販路拡大に努めます。

又、松くい虫防除事業をはじめ、経済対策として打ち出された森林整備加速化・林業再生事業及び雇用創出事業等にも役職員一丸となって積極的に取り組む所存であります。

組合員の皆様をはじめ関係各位の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年度

通常総代会開催



去る五月二十九日、平成二十一年度通常総代会を組合本所で、総代本人一二一名のほか委任状、書面議決を含めて一七七名の出席を得て通常総代会を開催しました。

佐田地区の神田満穂総代が議長に選任された後、七議案が審議され、すべて原案どおり承認されました。

林業をとりまく状況は一層厳しい状況下にありましたが、合併十周年記念の式典を十月に開催し役職員一同地域に根ざした森林組合としての責任を感じ、また想いを新たに致したところです。

永年続けてきました松くい虫防除空中散布が健康被害の発生により、明確な原因が特定されないまま中止となったことから、森林の管理形態も大きく方向転換することになり、今後に一抔の不安を残す結果となりました。

森林の公益的機能を十分に発揮できる森づくりを実施するため「新島根森林・林業活性化プラン」にそつて事業展開を図ると共に、出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド（林業3F事業）を活用して、森林整備事業に取り組んでまいりました。また、平成十九年度から施業集約化・供給情報集積事業を進め、本年度は三団地、三九九畝の施業集約化団地を設定する一方、生産性の向上とコスト削減を図るため、ハーベスタとフォワーダの高性能林業機械を導入し組合員のニーズに対応できる施設整備をおこないました。また、十月には斐伊川流域六組合で「斐伊川流域森林組合納材協議会」を設立し間伐材の販路拡大にも努めております。

本年度の事業取扱高は厳しい状況下ではありましたが、九億二、三〇〇万円と計画に対し121%となり、一、一七九万円の当期剰余金を計上することができました。

平成21年度 通常総代会提出議案

- 第1号議案 平成20年度事業報告書・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記事項及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 平成21年度事業計画の設定について
- 第3号議案 平成21年度内における借入金最高限度額決定について
- 第4号議案 1組合員に対する貸付金最高限度額決定について
- 第5号議案 諸手数料率決定について
- 第6号議案 平成21年度役員報酬額の決定について
- 第7号議案 余裕金預け入先決定について



Ⅱ 損益計算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
事 業 収 益	923,272
事 業 費 用	647,604
【事業総利益】	275,668
事業管理費	265,466
【事業利益】	10,202
事業外収益	11,976
事業外費用	9,724
【経常利益】	12,454
特別利益	12,588
特別損益	12,634
【税引前当期利益】	12,408
法人税及び住民税額	613
【当期剰余金】	11,795
【前期繰越剰余金】	5,076
【当期末処分剰余金】	16,871

Ⅰ 貸借対照表

平成21年3月31日現在 (単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	4,683	買掛・未払金	162,372
受取手形	2,415	短期借入金	62,000
売掛・未収金	338,400	その他流動負債	9,423
棚卸資産	33,550	〔流動負債計〕	233,795
その他流動資産	12,023	長期借入金	56,025
〔流動資産計〕	391,071	転貸資金借入	19,354
有形固定資産	361,000	諸引当金	47,254
無形固定資産	21,068	〔固定負債計〕	122,633
転貸資金貸付	19,219	【負債合計】	356,428
外部出資金	29,405	〔出資金〕	404,091
その他固定資産	82	〔利益剰余金〕	
〔固定資産〕	430,774	法定準備金	21,510
繰延資産	1,055	任意積立金	24,000
		当期剰余金	11,795
		前期繰越剰余金	5,076
		〔当期末処分剰余金〕	16,871
【資産合計】	822,900	【純資産合計】	466,472
		【負債・純資産合計】	822,900



Ⅲ 剰余金処分

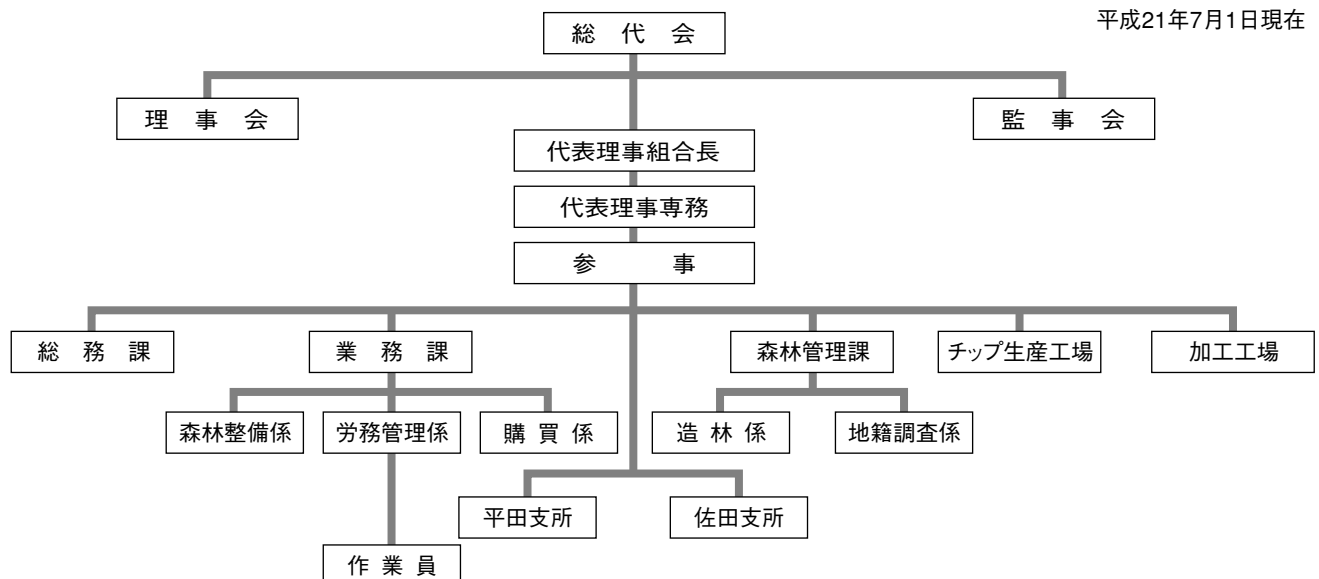
(単位：千円)

科 目	積 算 内 訳	小 計	金 額
【当期末処分剰余金】			16,871
【剰余金処分額】			
法定準備金	当期剰余金の20%以上	2,500	
任意積立金		10,000	12,500
【次期繰越剰余金】			4,371

脚注 1. 次期繰越剰余金中、教育情報資金は600,000円である。

出雲地区森林組合 組織及び機構図

平成21年7月1日現在



職場体験

6月15日(月)から19日(金)の5日間、出雲農林高校環境学科の生徒さん12名が組合での職場体験を行いました。



湖陵ふるさとの森での下刈作業に始まり、日御碕の漁民の森、鰐淵寺の自然歩道パトロール、組合施設見学等(加工工場、チップ生産工場)の研修を行いました。

また、16日は佐田中学校「緑の少年団」活動に参加したり、最終日には組合の労働安全衛生大会に参加し、応急手当の研修を職員・作業員と一緒に受けました。



「緑の少年団」活動

6月16日(火)に佐田中学校「緑の少年団」活動として、目田森林公園内の実習林で間伐・枝落とし・玉切り・皮はぎの体験の指導者として、組合も参加しました。

佐田中学校では「自然を愛し郷土を誇りに思う心情や態度を育てる」ことを目的として、毎年この時期に森林作業実習を行います。

今回は組合で就業体験をしている出雲農林高校の生徒さんも一緒に参加し、中学・高校の生徒さんがお互いの力を合わせて取り組んでいる姿に、指導する側も力が入りました。



出雲地域では、今年1月の南部地域を中心に大量積雪による幹折れや根返りなどの雪害が発生しました。森林国営保険に加入している山林には被害を調査し制度にしたがって補償していますので、組合総務課までご連絡下さい。また新たに加入を希望される方も相談・見積を致しますのでお気軽にお尋ね下さい。



こんな災害が対象となります。



恐るべき自然災害...それは突然にやって来ます。

島根県水源林造成事業3万2000畝造成記念式典で受賞しました



昭和三十六年（一九六一年）から島根県における「水源林造成事業」が始まり平成二十年で末で全国初の植栽面積三万2000畝の造成を達成した記念式典が六月十日に開かれました。
当組合も参加し、全国水源林造成協議会連合会長賞を受賞しました。また業務課造林係現森林管理課造林係の今岡光生さんが島根県水源林造成協議会長賞を受賞しました。
水源かん養機能の発揮を図る水源林造成事業の役割は極めて大きく、今後とも循環型作業を目指して、造林木の育成・管理に努めてまいります。



森林組合系統組織を挙げて 取り組もう人権問題

— 人権問題の啓発推進に取り組むこととなる基本事項 —

★人権問題の取組に当たっては、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者等、刑を終えて出所した人などへの偏見や差別を除去することを内容とする国民行動計画の趣旨を踏まえ、それぞれの分野において自らの問題として積極的な役割の発揮に努めること。
特に、同和問題の早期解決は人権問題の重要な柱であることに留意すること。

★職員採用に際し、戸籍謄本等プライバシーに係わる書類の提出を求めることはできません

★人権問題の啓発推進に当たっては、職場内検討会を実施する等により、役職員一人一人が人権意識を高め、他者の価値を尊重する意識・態度の涵養が図られるよう創意工夫すること。

★森林組合、県森連等の長は、人権問題啓発推進担当者（総務担当部署において人権問題啓発担当の責任を有する者をいう。）又は人権問題啓発推進担当部署が活動できるような環境整備に努めること。



出雲「花と緑」 総合フェスティバル2009



平成21年4月25日と26日の2日間にわたり出雲「花と緑」総合フェスティバル2009が出雲ドームで開催されました。

このフェスティバルは、花と緑のまちづくりを進め、潤いと安らぎあふれる生活空間を創出し庭園都市創造を目的として今回で11回目となります。

組合でも木のコーナーとして、木工作体験コーナーや木工品・林業資材の展示販売を催して参加しました。

体験コーナーは両日とも肌寒い雨模様にもかかわらず沢山の参加者の方で賑わいました。

樹木のことは出雲市樹医センターにご相談下さい。

出雲市の樹医制度が全国に先駆けて誕生して20年が経ちます。

出雲市民の方に無料で樹木の病害虫の診断や防除方法、樹木の折傷治療方法など、樹木の特性にあった植栽・管理や保育に至るまでの指導助言を行う出雲市の制度です。

現在7名の樹医の先生が出雲市に認定されていますので、多くの市民の方のご利用をお待ちしています。



花と緑のフェスティバル相談コーナーの様子

問い合わせ先：森林組合本所内 22-6497（ムクウナ）



緑の研修生紹介 (平成21年度からのフレッシュマンです)



飯塚 昇

平成21年4月1日付けで出雲地区森林組合に入りました 飯塚 昇 といいます。

歳は31才で斐川町に妻と3才の息子と3人で暮らしています。

林業の経験は全くありませんが、いち早く戦力になれるよう努力しますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。



天野 敬太

5月25日から森林組合でお世話になることになりました。

まだひと月も経っておりませんが、自分なりに一生懸命やっています。

まだまだ入ったばかりで分からないことや、経験したことのない事が沢山ありますので、ご指導の程よろしくお願いします。



遠藤 亮介

4月より研修生としてお世話になります。

林業という職業における知識・技術をより自己のものとする為、日々努力していく所存であります。未熟者ですがよろしくお願い致します。

間伐製品の紹介 (加工工場)



パーゴラ (出雲市 花の郷)

加工工場では組合員の皆様から出荷頂いた間伐材を、付加価値を付けて広く利用して行くために様々な加工をしています。
最近の加工実例をご紹介します。



看板 (奥出雲町 高田小学校)



写真立て

ハーベスタ



フォワーダ

高性能林業機械の紹介

あとがき

森林組合系統のロゴマークが決定しました。

森林組合系統の個性を明確にしてイメージの統一を図り、内外に認識していただく活動のために「JForest」愛称及びロゴマークが決定しました。
森林組合系統は『ひとつの森林組合』として、共同行動が行える体制を目指していますが、愛称とロゴマークを統一して使用し、グループ全体のイメージアップを図るべく組織の改革に取り組んでいきます。

○「J」マーク「JForest」とは

①「J」という文字 (デザイン) は大地から力強く育つ木を表します。「Forest」は洗練された森林 (間伐され、美しくバランスの取れた森林) を表現しています。

②一番肝心の「山間」は、曲線一筆で描いてあります。曲線を地平線とみなし、地平線の向こう、つまりは先 (未来) を見つめて「森林組合系統は進む」という意思を表し、これからも続くであろう厳しい社会情勢、林業情勢に全国の森林組合系統が力を携え、つまりは環になって立ち向かっていくという一体かつ前向きな姿勢を表しています。

③「J」「Forest」「山間」にこのような意味を持たせながら、ロゴとしての全体のバランスを考慮してシンプルなデザインになっています。

今後は、このロゴマークとともに森林組合のイメージアップを図り、組合員皆様に親しんでいただける取り組みをしていきます。

JForest

JForest 愛称 (ジェイフォレスト)